

## 平成30年度 第2回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成30年12月5日(水) 14:00~15:00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】(敬称略, 50音順)

石田 修次, 伊場田 真彦, 梶村 隆, 越田 賢一, 小林 弘晃, 高田 幸典, 取釜 宏行,  
中原 健次, 平田 修(委員9名)  
國藤 生美, 槌井 佑太(県教育委員会事務局2名)

### 【議事概要】

#### 1 開 会

○校長挨拶 ○委員の紹介 ○会長挨拶

#### 2 説 明

「高校魅力化」の取組について

- ▶ 魅力化を進めている他県のある学校では、学校の広報活動や町の活性化など全国から集まった生徒が中心に活動している。大崎海星高校ではどのような状況なのか。

・本校では、島内の生徒が中心に活動している。現在は特定の生徒が中心であるが、生徒全体に広げていく。少し前に大学生が本校に十数名来校し2年生の大崎上島学に参加してもらったが、大変良い交流となった。



#### 3 協 議

##### (1) 活性化策について

- ▶ 大崎海星高校が地域と一体になって教育活動を進めているが、もっと地元へのアピールが必要ではないか。大崎海星高校に関わりのある人は学校のことをよく知っているが、関わりの少ない人はあまり知らないのではないか。
  - ・生徒の活動の様子をまとめた冊子を今年度作成したが、クラス紹介のページを追加するなどバージョンアップして配布する。
  - ・みりよくゆうびん局の生徒が小学校や島内のイベント等に出向いて本校の活動をアピールする機会を増やす。
  - ・アピールは和太鼓演奏のように目で見てわかるものにする。また自分の将来の進路がイメージできるように進路実績もアピールする。
  - ・近年動画の影響力は大きくなっている。生徒が学校の魅力を伝える動画を製作し情報発信する。



#### 4 まとめ

#### 5 閉 会

○会長挨拶

※本協議会は、公開としております。